

令和5年度「未来を創る学力向上支援事業」に係る第1回小学校教科担任制推進協議会

【目的】 小学校教科担任制を推進する教員及び市町教育委員会指導主事を対象に、教科担任制の推進に係る行政説明及び協議を行うことにより、教科担任制の充実と本県児童の学力向上に資する。

【期日】 令和5年5月12日(金)13:30～16:05

【会場】 コンパルホール 多目的ホール

1. 開会行事 大分県教育委員会挨拶 <義務教育課長 小野 勇一>

○令和元年度からの取り組みについて

○小学校教科担任制による成果について

- ・教材研究の深化につながっている。
- ・授業における専門性の高まりが見られる。
- ・複数教員が関わることにより組織的な生徒指導の推進につながっている。



2. 行政説明「小学校教科担任制の推進について」<義務教育課 指導主事 田口 昭彦>

(1)小学校教科担任制に関する国の動向

・中央教育審議会答申(令和3年1月)

「令和4年度を目途に教科担任制を導入」

- ・対象教科に外国語、理科、算数を例示→STEAM教育が背景
- ・小学校教科担任制の推進のポイントは、義務教育9年間を見通した教育課程を支える指導体制の構築である。

<教科担任制の効果・意義>

- ・「授業の質の向上」が教科担任制の最も期待される効果である。
- ・中学校教員が小学校と兼務して実施している場合は、小中学校の連携が深まる。
- ・複数教員による指導体制に伴う児童理解が深まる。
- ・「教師の負担軽減」は、上記の取組の充実が前提である。



(2)大分県における小学校教科担任制導入の状況

- ・大分県が目指すものは、学級担任間の交換授業である。
- ・今後の加配の状況は不明であるため、加配がなくても実施できる状態にしていくことが必要である。
- ・高学年の学級担任間における交換授業の導入状況

令和2年度	令和3年度	令和4年度
43.7%	50.2%	58.1%

→加配教員が配置されていない多くの学校で、自主的な取り組みが行われている。

(3)各種質問紙調査の結果概要

・大分県学力定着状況調査(質問紙調査)の結果から

<令和3年度>	推進教員配置校	大分県	全国
国語の勉強は好き	65.9%	62.3%	58.4%
国語の勉強はよく分かる	87.8%	87.1%	84.2%

<令和4年度>	推進教員配置校	大分県	全国
国語の勉強は好き	70.8%	63.2%	59.2%
国語の勉強はよく分かる	92.4%	86.0%	84.0%

<令和3年度>	推進教員配置校	大分県	全国
算数の勉強は好き	70.3%	67.9%	67.8%
算数の勉強はよく分かる	87.5%	85.9%	84.6%

<令和4年度>	推進教員配置校	大分県	全国
算数の勉強は好き	67.4%	65.2%	62.5%
算数の勉強はよく分かる	89.2%	82.1%	81.2%

- ・教科の「好き」の数値が上昇すると、「分かる」の数値も上昇している。
- ・推進教員配置校は、大分県、全国よりも高い数値を示している。
- ・令和4年度専科教員配置校37校における児童質問紙調査結果から、教科担任制に対して児童が肯定的な捉えをしていることが分かる。

3. 情報交換 「授業の質の向上」「小・中学校間の円滑な接続」「多面的な児童理解」「教師の負担軽減」に関する取組について

(1) 4つの観点それぞれについて、特に効果があると考えられる取組

① 授業の質の向上

- ・タテ持ちにより教師が系統性を意識している。
- ・同一教科を繰り返し行うことで、授業改善につながっている。

② 小・中学校間の円滑な接続

- ・指導計画の作成を行い、児童に付けたい力を明確にしている。
- ・町内の6年生全員を中学校に集めての体験学習を実施している。

③ 多面的な児童理解

- ・毎週金曜に打合せの時間を確保し、児童の情報交換を行うなど、組織的な取組の充実に努めている。

④ 教師の負担軽減

- ・空き時間ができ、教材研究を深めることができる。
- ・自らが使用した教材について、使用学年や使用する単元を明記しておくことで、教材を探す必要がなくなり、無駄な時間を短縮させることができている。



4. 協議・発表 「授業の質の向上」に関する取組について

① 児童の教科に対する「好き」「分かる」をさらに高めるための授業改善

- ・反復練習する時間を確保し、児童が「分かる体験」をすれば、「分かる」「好き」が増える。
- ・教材・教具の工夫により子どもたちが楽しめる授業展開を構想する。
- ・NHK for schoolの活用など、児童の視覚、聴覚に訴える。
- ・ICTと実体験の両輪で理解を図れるような授業を行う。
- ・子どもの疑問を基に、指導計画を構想する。



② 教科指導の専門性に基づいた授業改善

- ・定義など、正確な言葉を大切にする。
- ・単元で付けたい力を明確にする。
- ・授業の流れを他の先生方と共有する。(授業の見える化の工夫)
- ・教科の学習と生活とを結び付け、学んだことの日常化を図る。
- ・子どもが考察をする場面では、専門性を生かした視点を与える。



5. 開会行事